



- ・電子マニフェスト制度による遅延報告等の関連事業者指導事務
- ・関連事業者への定期立入調査、苦情等に基づく立入調査

### (3) 県負担・補助率の考え方

各関係事業者の登録、許可は都道府県で行うことから、これに伴う上記事業は県で行う必要がある。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	50	業務旅費
需用費	315	消耗品費、燃料費
役務費	149	通信運搬費
合計	514	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県廃棄物処理計画（計画期間：令和3年～令和12年度）

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 自動車リサイクル法の適正な施行及び運用を図ることにより、使用済自動車の適正処理を推進し、不法投棄、不適正処理の防止及び最終処分量の極小化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%

○指標を設定することができない場合の理由

事業の性質上、数値目標の設定ができないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>○取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県事務所等に対し、自動車リサイクル法に基づく引取業等の登録事務等の事務委任を行うことにより事務の合理化を図るとともに、担当者会議を開催し、事務処理の統一化を図った。</li> <li>・県事務所等と連携し、自動車リサイクル法解体（破砕）業者及び自動車解体ヤードに対する立入指導を実施し、適正処理の推進を図った。                  自動車リサイクル法解体（破砕）業者：108件                  自動車解体ヤード 63件</li> </ul> <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・許認可事務を迅速かつ円滑に実施するとともに、書類送付にかかる費用の削減に寄与した。</li> <li>・継続的に立入検査等による監視指導を実施した結果、使用済自動車に関する大規模な不適正処理事案は発生していない。</li> </ul>
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>使用済自動車のリサイクルは順調に実施されているが、解体を行う事業者に対する苦情や、決められた期間内に処理されず遅延報告が発生している事例も見受けられるため、現地機関（県事務所等）と連携した立入等監視指導は引続き必要である。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>自動車リサイクル法の適切な運用が概ね図られることで、解体を行う事業者に対する苦情が減少しており、事業の効果は十分得られている。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	<p>(公財)自動車リサイクル促進センター（事業者による引取・引渡実施報告先）との連携も密に行っており、必要な情報が得られる体制も整っている。</p>

### (今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 問題事案のより早期の解消のため、より一層県事務所等との連携を強化していく必要がある。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 自動車リサイクルに係わる者に対して、各種基準遵守を指導し適正処理の推進を図るため、翌年度以降も継続して事業を実施する。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	